

アトピー性皮膚炎について

皮膚科

ア

トピー性皮膚炎について最近ではいろいろな情報があふれ、患者様に不安を与えてしまうことも多いようです。今回はアトピー性皮膚炎の治療に最も多く使用されているステロイド外用剤を取り上げてみたいと思います。

ステロイド外用剤は、皮膚の炎症を抑える点ではたいへん優れた効果があり、かぶれや湿疹などの多くの皮膚病に用いられています。反面、この軟膏を長期に使う場合、その副作用が問題となります。特にアトピー性皮膚炎は慢性に経過するため、副作用に注意が必要です。主な局所の副作用は、皮膚が薄くなって赤みが出たり、水虫、水イボなど感染症を併発したり、にきびができやすくなるなどその他様々あります。これらの症状は、もとの皮膚炎と区別がつきにくく、患者様ご自身が判断なさるのは難しいため、皮膚科専門医による診察を定期的にお受けになることが必要です。



日本皮膚科学会ではアトピー性皮膚炎治療ガイドラインを作成しており、この中でステロイド外用剤を重要な治療法の一つと位置づけ、その使い方を詳しく示しています。大切なのは、症状の重症度の評価です。重症度によってステロイド外用剤の使い方を決め、治療の効果を評価しますので、患者様ご自身が納得のいく治療を受けられ、自己管理もしやすくなります。アトピー性皮膚炎は慢性の疾患ですから、症状さえ落ち着けばいいというものではなく、自分の肌を良い状態に保つために生活上の管理も必要です。

梶山 理嘉



皮膚科・小児科
多摩ガーデンクリニック
東京都多摩市落合1-35 ライオンズ多摩センター3F

予約・お問い合わせ
042-357-3671

※皮膚科と小児科では診療時間及び受付時間が異なります。詳しくは受付・電話にてご確認ください。